



シンデレラなんかじゃない

9月1日は防災の日、大正時代の関東大震災に由来しますが、今年には台風が猛威を振るっています。私の故郷である北海道の釧路で8月に台風が3回も上陸するなどということは過去に一度もなかったことです。幸い千葉では台風10号の直撃は免れましたが、9号の時は無理には通塾しないでとホームページでもお知らせしました。年度初めにいつも通信に掲載していますが、塾生のみなさんへの緊急のお知らせはホームページのトップページ「最新情報」にも逐次アップしています。必要な場合はメールの一斉送信やお電話でもご連絡いたします。また万一の災害時には「災害伝言ダイヤル171」での安否確認の体制をとります。

さて、オリンピックが行われているブラジルが本当に地球の反対側だということを実感させられた寝不足の8月。やっぱり録画でなく生で感動を味わいたいという気持ちがあったからでした。そんな時にすべて録画しておいて後から全8回をじっくり見たテレビドラマがありました。NHKBSの「受験のシンデレラ」というドラマです。8/28の最終回は「2017年春の東大の合格発表」というシーンで終わります。そのうち再放送もするでしょうからストーリーの紹介はやめておいて、原作の和田秀樹さんの名言を紹介しましょう。ご存知の方もいるかもしれませんが和田さんは東大医学部卒ながら受験参考書などもたくさん書いている、いわば“受験のカリスマ”です。今回のドラマの主人公の川口春奈さんの熱演と小泉孝太郎さんのちょっとクサイ芝居の中でも名言がそれぞれのセリフとなっていました。「ケアレスミスは誰もが通る道。」「ひとつ覚えれば一歩進んだ気がする。」「勉強すればするほど可能性が広がってゆく、その楽しさを教えてくれた。」そして最後にこう回想します。「違う景色を見たいと願った時には、もう魔法はかけられていたんだ。解けない魔法が。」12時を過ぎて解けない魔法は、シンデレラなんかでなくても自分自身が願うことでのみ叶うのでしょうか。

そして最後の言葉。「人生の極意、ゴールは次のスタートだ。」